

# 築地市場移転決定に至る経緯

## 場内の狭隘 過密化

昭和10年 築地市場開場  
昭和30年代～ 取扱量の増大と車両増加に対応するため、仲卸売場増設、屋上駐車場等の施設整備  
大井市場(現・大田市場)建設構想

## 築地市場の機能分散の検討

昭和47年 第一次東京都卸売市場整備計画策定  
築地・神田等の既設市場の機能分散を図るため、大井の埋立地に近代的な総合市場を建設」  
昭和52年 第二次東京都卸売市場整備計画策定  
大井市場建設は、具体的計画内容を昭和56年度までに策定」  
昭和57年 第三次東京都卸売市場整備計画策定  
地元消費市場の機能と築地市場の過密解消を図るために大井市場を建設」

## 業界内の意見の不一致

昭和56～57年 都が水産業界に大井市場移転についての統一見解回答を要請するも、全面移転、全面再整備で意見が分かれる  
昭和57年～ 都が、大井市場水産物の規模を日量300トン、仲卸店舗160と計画(後に100店舗に変更)

## 水産業界の強い反対

昭和60年 水産業界が築地本願寺で、大井市場への機能分散に反対する総決起集会

## 現在地再整備の決定

昭和61年 東京都首脳部会議で現在地における再整備を決定  
第四次東京都卸売市場整備計画策定  
現在地において施設を立体的、合理的に配置し、基幹的機能を維持できるよう再整備」  
昭和60～62年 仮移転先として国鉄汐留用地の一時借用に動くも、最終的に断念

## 再整備工事の着手

昭和61～62年 築地市場再整備推進委員会」を設置し、現在地における再整備の基本的方針について協議  
業界の協議を踏まえ、従来のエリア区分にこだわらない水産1階、青果2階の立体配置を答申  
昭和62年 再整備計画の円滑な進行を図るため、築地市場再整備協議会」を設置  
昭和63年 築地市場再整備基本計画策定  
水産物部を1階、青果部を2階、屋上に駐車場を配した立体構造  
平成2年 築地市場再整備基本設計(工期14年、総工費2,380億円)  
平成3年 正門仮設駐車場建設工事に着手  
以後、仮設卸売場、勝どき門駐車場等を整備(約400億円)  
築地市場再整備協議会」を築地市場再整備推進協議会」に名称変更  
第五次東京都卸売市場整備計画策定  
現在地において営業を続けながら再整備(水産1階、青果2階の立体配置)」

## 再整備工事の行き詰まり

平成3～7年 再整備工事に着手するも、以下の問題が顕在化  
工期の遅れ、整備費の増嵩(再試算で3,400億円)  
業界調整の難航(買荷保管所や冷蔵庫の移転等)

## 基本計画の見直し

平成8年 第六次東京都卸売市場整備計画策定  
工期の短縮、建設コストの縮減を図り、基幹市場としての機能を維持していくため、計画見直し」  
⇒ 水産物部、青果部に分けて整備(立体配置を改め平面配置に)  
平成9年 築地市場再整備推進協議会で新たな基本計画策定に向けた協議を開始したが、業界から、以下の問題が提起  
施設規模、水産棟分割工事による営業への影響、工事の長期化への懸念

## 臨海部移転の可能性の検討

平成10年 業界6団体連名で、臨海部への移転の可能性について調査・検討の要望書が提出  
⇒ 都は現時点で移転可能性の見極めは困難であり、判断のためには、業界各団体の一致した意思の確認が必要」と文書要請  
⇒ 4団体(水産卸、水産買参、青果、関連)は移転推進、2団体(水産仲卸、水産買出人)は現在地再整備と回答

## 現在地再整備の再検討

平成11年 業界の意思が一致しなかったため、築地市場再整備推進協議会で、まず再整備案を中心に協議するとともに、並行して、将来の立地のあり方等についても検討  
⇒ 都が提示した5案、東卸案、東卸補正案を比較検討したが、いずれも合意に至らず  
現在地再整備には、市場周辺の都市機能集積が活かされる、交通利便性が高い、市場の歴史・伝統がそのまま継承される、というメリットがあるものの、以下の問題点を抱えていることが明らかになった

工事期間が20年以上必要(少ない工事用空地を活用し、かつ営業を継続しながらのローリング工事)  
建設費用の増大(立体構造、仮設施設の建設等)  
営業活動への深刻な影響(交通混雑、駐車場不足、物流動線制約等による顧客離れの懸念)  
基幹市場としての機能配備が不十分で、流通変化に対応した新たな施設の組み入れも困難(完成後も施設は現有規模を若干上回る程度にとどまり、物流動線や場内混雑の抜本的改善も果たせない)

## 移転整備へ意見集約

平成11年 業界委員6名の連名で早期移転検討に向けての要望  
築地市場再整備推進協議会において、現在地再整備と移転の比較検討  
業界委員6名の連名で移転判断を求める要望  
⇒ 業界委員と現在地再整備は困難であり、移転整備へと方向転換すべき」と意見集約

## 移転整備の決定

平成13年 第七次東京都卸売市場整備計画策定  
現行の計画を改め、築地市場を豊洲地区に移転」